ぐんま経済新聞

H20.7.3（3面）

チーム医療教育で連携

群大など10大学「JIPWEN」

さまざまな職種の医療者が連携して患者の治療に当たるチーム医療について、積極的に学生教育に取り組む全国の8大学がこのほど、前橋市で会合を開き、日本チーム医療教育機関ネットワーク（JIPWEN・ジャイペン）を発足させた。情報交換や共同での英文著書作成、評価の仕組みづくりを通じ、各大学の教育内容をさらに深化させていく方針。

医学部保健学科を中心に10年間、チーム医療教育を実践し、07年度文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」（特色GP）に採択された群馬大学の呼び掛けで実現した。

第1回会合は6月28日、前橋マーキュリーホテルで開かれ、札幌医科大学、千葉大学、埼玉県立大学、筑波大学、北里大学、新潟医療福祉大学、神戸大学、群馬大学の8大学が出席した。このほか慶応大学、東京慈恵会医科大学も参加を表明している。

会合では各大学の取り組み紹介の後、活動内容を討議。来年8月を目標に英文著書を作成し、これまで海外では知られていなかった日本でのチーム医療教育の実践を、広く国内外に発信していくことを決めた。また、各大学が独自で行っているチーム医療教育をより効果的なものにするため、評価方法を検討していくことになった。

今年12月にはJIPWEN加盟大学の参加を得て、群馬大学でチーム医療教育のシンポジウムを開く予定。

前橋で開かれた第1回会合